

父) ダイナフェアリーの06 牡・栗毛 2006年5月4日生

全40口 ●1口100万円 (総額4,000万円)

生産 白老ファーム 繋養 早来ファーム



アグネスタキオン 栗 1998	*サンデーサイレンス Sunday Silence 青鹿 1986	Halo	Hail to Reason
	アグネスフローラ 鹿 1987	Wishing Well	Cosmah
ダイナフェアリー 鹿 1983	*ノーザンテースト Northern Taste 栗 1971	*ロイヤルスキー	Understanding
		アグネスレディー	Mountain Flower
	ファンシーダイナ 鹿 1978	Northern Dancer	Raja Baba
		Lady Victoria	Coz o'Nijinsky
		*シーホーク	*リマンド
		*ファンシミン	イコマエイカン
		Nearctic	
		Natalma	
		Victoria Park	
		Lady Angela	
		Herbager	
		Sea Nymph	
		Determine	
		Fanciful Miss(9)	

ポイント

POINT

「ダイナ」の冠を持つ繁殖牝馬も少なくなったいま、本馬のような優れた産駒を誕生させた母には頭が下がる思いです。けっして重過ぎず軽過ぎず、良質な柔軟性のある筋肉をまとった、頭部から蹄に至るまでシャープさが印象的な馬体は、大型になることが多かった最近の母の産駒とは異なり、中サイズでバランスに優れています。立ち姿から想像できる通りの、弾力性に富んだ軽快な動きで疾走する様子からもスピードの絶対値は高そうです。気性は兄同様キツめですが、父の産駒らしい真面目さが正しい方向へ導いてくれるはずで、『フェアリー最後の大作』となる資質は十分に備えています。